



圧倒的な強さで県を制し、東海大会でも栄冠つかむ

# 黒潮キッズバレーボール スポーツ少年団



## 黒潮キッズ東海王者に

常に静岡県の上位に名を連ねる黒潮キッズバレーボールスポーツ少年団。5年生を最上級生とした新体制で挑んだ「第45回静岡県小学生バレーボール選抜優勝大会兼天神屋カップ」でも、3試合を1セットも落とさず勝ち抜き、見事栄冠を手にした。西部地区大会5試合を含めても落としたのは1セットのみ。まさに向かうところ敵なしだった。

その王者が、2月23日と24日に愛知県親水公園総合体育館で開催された「平成30年度(第20回)東海小学生バレーボール連盟新人大会」に出場した。大会は、各県を勝ち抜いてきた上位3チームが4組に分かれ予選リーグを戦い、各組の順位に応じトーナメント方式で1位から12位までの順位を決定した。黒潮キッズは同大会でも圧倒的な強さを見せつける。予選リーグを1セットも落とさず1位で通過。決勝トーナメントは三重県代表に2対0、愛知県代表に2対1で勝利し、東海王者の座を勝ち取った。今後も黒潮キッズの活躍に目が離せない。



第19回東海ブロック中学生バレーボール新人大会へ出場する

# 御前崎中学校 女子バレーボール部

## 東海大会を勝ち上げ

夏の中学生連が終わり、新体制で迎えた「平成30年度西部地区中学校新人バレーボール大会」。御前崎中学校女子バレー部は「サーブで相手を崩して得点につなげる」バレーで順当に勝ち上がる。準決勝では、掛川市立桜が丘中学校に僅差で敗れたものの、3位で「第24回静岡県中学校新人バレーボール大会」へ駒を進めた。1、2回戦をストレート勝ちし、迎えた準決勝。相手は西部地区大会で敗れた桜が丘中学校だった。善戦するも結果は



0対2。涙を飲んだが「第19回東海ブロック中学生バレーボール新人大会」への切符を手にした。大会は3月23日と24日の2日間、同校などで開催される。大会を間近に控え、酒井史貴監督は「東海大会で勝ち上がっていくことを目標に練習している」と近況を話した。

主将の植田玲菜さん(下岬区)は「ベンチの人間も含め、全員で勝てるように頑張りたい」と意気込む。笑顔でバレーをすることを心掛けているという選手たち。常笑軍団が東海大会で大暴れする。

